

温室効果ガス削減実施状況報告書

平成 29 年 8 月 31 日

広島県知事様

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名  
提出者 広島県安芸郡海田町明神町1-48  
ヨシワ工業株式会社  
代表取締役社長 荒木 健史



広島県生活環境の保全等に関する条例第100条の2第1項の規定により、温室効果ガス削減実施状況報告書について、次のとおり提出します。

事業所の名称	ヨシワ工業株式会社 本社工場		
事業所の所在地	広島県安芸郡海田町明神町 1番48号		
実施状況の内容	別紙のとおり		
連絡先	担当部署	生産技術部 設備技術課	
	担当者氏名	野村 浩司	
	電話番号	082-823-2180	
※受理年月日	年	月	日
		※整理番号	
※備考			

- 注 1 実施状況の内容については、別紙によることとして、規則第75条の2第2項に掲げる事項について記載するものであること。  
2 ※の欄には、記載しないこと。  
3 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とすること。

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ヨシワ工業株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町明神町 1番48号

(3) 業種

自動車部品・付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))								
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
メタン			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
一酸化二窒素			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
その他 温室効果ガス			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス 実排出量総計			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス みなし排出量													
実績に対する 自己評価	実績に対する自己評価												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産個数；千個

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))			
	平成27年度	平成32年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	1.03	0.97	1.04					
		-5.8	-1.2	100.0	100.0	100.0	100.0	
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 排出量総計	1.03	0.97	1.04					
		-5.8	-1.2	100.0	100.0	100.0	100.0	
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	0.362	0.342	0.372					
		-5.5	-2.8	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績に対する 自己評価	受注変動や素材不良の多発により 製品1個当たりのエネルギー使用量が増加							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量 5 %削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冷暖房温度の適正管理</li> <li>・ 省エネ電気機器への更新</li> <li>・ 設備投資及び更新時は、トップランナー基準を満たした機器装置を使用する</li> <li>・ 休憩時間の消灯の徹底</li> <li>・ エアーラインの漏れ対策</li> </ul>
2	電気使用量の削減	ピーク電力 5 %削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工場のデマンドモニターにより時間帯を分けた平準化操業</li> </ul>
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	無し	
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	無し		
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。